

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 2 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カンザス州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	リスニング力や突発的な質問に対する対応力、通訳力
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	自分自身と向き合い、このプログラムを完遂することに注力した。授業に関わる学習は最低限に抑え、自ら興味のある分野に積極的に飛び込み学習に励んだ。特に通訳に関わる勉強は AI を用いた学習や現地のアスリートチームに帯同し、実践的な経験を積むことができた。反省点はない。今の自分に何が必要か、何なら続けられるかを考え学習することができた。全体的に、ペンを持ち勉強をするスタイルでなく、主にアスリートチームに帯同しながらの実践的な学習を通して学んだ。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	自分自身と向き合い、自分が何者なのか、分析できた。自分の取り扱い説明書をより細かく明確に書くことができる、そんなイメージです。また、出会いにも恵まれ、目指す世界、業界で活躍するための礎を築くことができたのではないかと感じている。
中間報告からの変化	現地の一般学生ではなく、チームメイトと過ごす時間が増えた。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	留学中、渡米前までに築き上げてきた「自分らしさ」に圧倒されていたんだとわかった。周りの支えがありながらも、多くを 1 人でこなし、多くの依頼をさばき、人前にたつ。いつの間にか形成されていた「自分らしさ」に気づかず、渡米後それが発揮できないことに苦しんでしまった。賑やかな空気も雰囲気の中にも、なにか隠しきれない自分の寂しさを感じ、人との関わりを拒絶する時間もあった。自分らしさを失った当時、自分の存在について深く考えた。学内、学外での人間関係で多くの人から相談を受けたり、話し合いをする時は、人の心を慰めるような言葉をかけるが、自身のケアが確実ではない中で自分自身にそれを言う資格があるのか、意味のないものになるような不安に駆られた。自分の生存と周りの人間との共存の中で、今まで揺らぐことのなかった自分の目標や夢に疑いの目を向けてしまい、それがすり替えられそうにもなった。受け止めよう、何かそう思えたタイミングがあり、そこを皮切りにこの留学の意味を考え、新たなスタートを切ることができた。自分自身の存在を真剣に向き合い、「自分らしさ」を発揮できるステージに戻ってきた今、今までの「自分らしさ」をもっと大切にしようと思うし、それが揺らぐことないものに、それに圧倒されない自分を今後も引き続きつくりあげていこうと思う。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 2 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・セントラルランカシャー大学				
留学制度	TESS I	留学期間	1 年	学科	英米語
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	研究に対して知識と興味が深まった。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	授業中に分からない内容はその場で聞き、ノートと取ったりしました。レポートを最初から少しづつやると楽だったと反省しています。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	仲良く出来る友達をいっぱい作れて、色々な国の友達と親しく生活を出来ました。 寮は留学生 4 人でシェアするアパートの形になっていて、ついた当初から色々な国の留学生と交流することが出来ました。
中間報告からの変化	半年間だけの留学だったフラットメイトが母国へ帰ったことで、寮の空気が少し変わりました、悪くもよくもない変化でした。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	高校を卒業するまで外国で住んでいたので他国での生活で内面が成長する機会が既にはありましたが、留学を通じてその多文化的な交流やの理解が深まったと思います。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 2 期発

基本情報

留学先大学	オーストラリア・サウスオーストラリア大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	今回履修した授業では主にディスカッションをする機会がとて多かったです。スピーキングがさらに伸びたかなと感じる場面が多かったです。また、エッセイをたくさん書く機会があったので、ライティングもかなりスムーズに書けるようになりました。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	エッセイが最終課題の場合が多かったので、なるべく早く終わらせていました。期日よりかなり早くから動き出すことで、エッセイの矛盾点などを理解しました。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ディスカッションのクラスが多くて結構簡単に友達になることができたり、ルームメイトとご飯を食べに行っていたりしました。あとは、日本語クラスのアシスタントなどを通じて日本語を勉強したい子たちと仲良くなっていました。すごく充実していたと思います。
中間報告からの変化	特にそこまでの劇的な変化はなかったかなと思います。ほとんどの友達は語学学校で仲良くなった子達が多かったので、大学が始まってとても楽しかったです。学部が始まってからは違う友達ができたりとても楽しかったです。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	いい意味で、色々な細かいことを気にしなくなりました。例えばいろんな文化を知ることによって私が生まれた国ではいいことですが、他の国の文化では悪いことだったりしました。今まではその人の背景を深く考える機会が日本ではあまりなかったのですが、今ではかなり背景を考えてから話をしたり行動できたりするようになりました。特に色々な国の子達とご飯食べに行く時にマナーの違いを本当に感じました。私が正しいと思っていたことは本当に他の国では通用しないんだと感じ、とても驚きましたが、いい経験になったと思います。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 2 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セルカークカレッジ				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	英米語
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	積極的に発言し、自分からたくさん行動して機会を掴むことができたと思います。また、後期からはホスピタリティの授業にも参加したので授業レベルが一気に上がったけど、なんとか必死についていこうと努力し、私のレベルも上げることができたと思います。
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	とにかく積極的に授業を受けて人々と関わることを意識しました。すると、チャンスやいい機会をもらえることが増え、自分の英語力を伸ばすためにも目標を達成するためにも役立ちました。後悔していることはないです。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	とても満足しています。なぜなら、誰よりも充実した有意義な留学生活を送った自信があるからです。まず、一番大きい理由はボランティアの授業に参加したこと。この授業は七人だけの少人数クラスで、先生に選ばれた人しか受けられません。なぜなら外部と関わることになるので今までの授業態度や人柄、英語力や目標をしっかり持っている人だけを選ぶそうです。そして最初を選んでもらったのが私でした。それだけでも嬉しかったのですが、その授業を通して、たくさんのイベントのボランティアに参加したり、老人ホームに行ってお話したり、空港のセキュリティの仕事を学び調査のお手伝いをしたり、ホテルでボランティアをしたりしました。実際に地域コミュニティの人々と関わってお話する機会がたくさんありましたし、ホテルではフロントデスクやハウスキーピングの仕事を学び、カナダでのホスピタリティを真近で学ぶことができました。そしてその機会を掴むのも自分から行動していかなければならなかったもので、全て自分からメールや電話で連絡をとり、面接の日を設けてもらい、インタビューをしてどのようにボランティアをさせてもらえるか調査した上で報告書を書き、クラスで発表し、実際にボランティアを開始するという流れでした。正直とても大変でした。でもこれにより本当に素敵な人にたくさん出会うことができ、いい経験になりました。そして、歌が好きなので合唱団にも参加することで、本当にいい人たちに囲まれながら地元の人と交流する私の癒しの時間になっていました。私はこの留学を通して人の温かさが一番触れたと思います。特にカナダの中で田舎に入るキャッスルガーなのでより人との距離は近いと思いますが、みんな優しく温かく、心の広い方達ばかりでした。いつかまたそこに帰って来たいです。
中間報告からの変化	最初の 4 ヶ月はなんとか必死に狭い世界（日本人のいるグループ）で頑張ろうとしていたけど、自分のコミュニティを広げることを意識して、どんどん自分の輪を広げていったら交友関係も自然とカナダ人、オーストラリア人、フィリピン人、インド人、メキシコ人、など様々な国の人と関わるようになって本当に嬉しかったです。また、特に NUFS にセルカークカレッジから留学しに来る予定の子たちと仲良くなり、そこから私の交友関係は発展していきましました。なのでお互いを紹介してくれた先生には感謝しています。そのおかげで私はもっとカナダの人たちと友達を作ることに積極的になることができました。私は若い年代から親世代、おばあちゃん世代まで幅広く友達を作り、遊びにいくことができました。それぞれ違った価値観を持っていますが、どれも素晴らしく世代ごとにまた違った温かさを感じました。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	特に気づいたことは、私は本当に人が大好きだということです。たくさんの人と関わり愛を与え、また同時に愛をもらう。これがカナダで生活していて直に感じたことです。たくさんの方の温かさに触れた私は日本の家族と離れていても寂しくないくらい愛をもらいました。私は元々とても考えすぎてしまう性格だし、芯まで仲良くなる人はとても少数でしたが、それでいいのだということに気づけました。自分から心を開けば自ずと向こうも心を開いてくれるし、私が一緒にいたいと思う相手には心からの愛が伝わっているのです。だから、人間関係について考えすぎる必要はないということに気づいたのです。この考え方に辿り着けたのが大きな成長かなと思います。たくさん違う国の人々と関わり、それぞれ違った価値観を持ちながらも心をオープンにして接している友達を見て、大きな学びを得たと同時に彼らを尊敬しました。私もそんなふうになりたいです。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 2 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界共生
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	後半の学期はプレゼンテーションを通じて意見を述べたり質疑応答の時間で内容を深掘する機会が多かったため、聞き取り能力とコミュニケーション能力がさらに向上した。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	毎日大学の課題以外に中国語と英語の勉強を欠かさず行っていた。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	語学を勉強しているという感覚を忘れて毎日楽しく中国語と英語を使って友達と遊んでいたから。
中間報告からの変化	良い意味で中間報告から変化していない。（友達は更にできて楽しさも倍増した）
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	私は午前中語学センターで中国語を三時間学び、午後大学で英語を学ぶという生活を毎日送っていた。語順も発音も全く異なる2ヵ国語を同時に学ぶのはとても大変だった。しかし友人や先生方が応援してくれて背中を押してくれたため、諦めずに勉強し続けることができ、今ではどちらも使いこなせるようになったため、頑張ったよかったと心から思っている。